再発防止策の進捗状況（2023年3月24日版）

net one

進捗状況

1.ガバナンスの改革と推進	• 再発防止につながるコンプライアンス意識とガバナンスの浸透を目的とし、重要リスクの一つとして「下請法」をテーマとした事例研究会を実施(1.(1)-b, 1.(4)-b) • トップメッセージの配信など、頻度・質を強化した従業員へのメッセージ発信を継続的に実施(1.(3)-a)
2.リスク管理体制の強化	• リスク情報専門のポータルを通じた、顕在化したリスクの社内共有を継続的に実施(2.(2)-d) • 内部統制強化協議会との連携は、同協議会を再編し2022年4月に設置したガバナンス・企業文化諮問委員会との間で連携を継続(2.(2)-e)
3.業務執行に係る体制及び社内体制の強化	• 業務執行体制強化のための部門間情報共有についても、D1/D1.5/D2合同での各種定期ミーティングを継続して実施(3.(1)-a, 3.(2)-a)
4.監査体制の抜本的な見直し	• テーマ別内部監査を実施中(4.(1)-b) • 2023年3月期J-SOX内部統制評価計画に従い、整備評価および運用評価を実施中。評価状況を経営委員会へ報告(4.(3)-a) • 社外取締役(常勤監査等委員)と社内取締役の意見交換会を定期的に実施(4.(4)-a)
5.従業員の声を集める仕組み	• 匿名でも双方向のコミュニケーションを可能とする「内部通報プラットフォーム」の試験運用を終了し、従業員向けに本番運用を開始(5.(1)-a) • 第三者を窓口とする目安箱について、機能と役割を再定義し、課題を効果的に抽出するための改善案を策定中(5.(2)-a)
6.組織文化の改革・形成	• WAY（行動指針）の浸透補完ツールピクトグラムを社内展開・活用開始、ビジョンウィークweb開催で、外部講演や各本部から浸透活動を共有(1.(3)-a、6.(2)-b/c/d) • 新理念体系を踏まえた行動宣言をもとに上司と個別面談（One On One）を継続して実施(6.(2)-e)
7.会計リテラシー教育及び過去不祥事からの学び、啓蒙	• 2022年度下期の会計リテラシー向上・会計知識教育STEP2は全て完了。2024年3月期に向けて計画を策定中(7.(1)-a) • 失敗事例からの学びに関する業務ルール説明会やワークショップ、失敗事例の共有を継続して実施(7.(3)-a)
8.モニタリング体制の継続	• 内部監査以外の定期的な調査の一環として新たなテーマを選定中。あわせて2024年3月期の調査実施に向けて、調査方法およびスケジュール等を策定中(8.(2)-a)

※ 進捗状況の末尾に記載されている番号は、2021年5月13日付「再発防止策の追加について」で開示した各再発防止策番号となっております
※テーマ別内部監査：リスク評価および組織別内部監査結果等により、組織横断的に内部監査が必要と判断した時に、テーマを定め内部監査を実施します